



みなとだより

和歌山市立湊小学校
令和 7 年 5 月 号

乗り合い列車



教 育 目 標
人間性豊かで
たくましい子

4月16日（水）、6年生の子供たちの準備と進行のもと『1年生を迎える会』が行われました。この日は、湊小学校の全校児童が初めて出会う日でした。新しい一年生を迎えて、6年生から1年生への手作りメダルがプレゼントされたり、全校で「勇気100%」を歌ったり、初めてのたてわり活動でグループに分かれて遊びました。1年生の子供たちに、「はじめてお兄さん、お姉さんとあそんでどう？」と尋ねると、「めっちゃくちゃたのしい！」と元気な返事が返ってきました。素敵な会になりました。

4月は、学校にとって新しい一年が始まります。日差しが明るく柔らかくなり、花の蕾もほころぶこの季節に、1年が始まるのがとても素敵なことと感じます。

同じ学校で学ぶことは、実はたくさんの偶然が重なった結果です。生まれた月や住んでいる地域が違えば、この学校で一緒にいることはなかったのかもしれませんが。新しく先生と出会う、席が隣になるなど、どれも些細なことですが、よく考えると不思議な巡り合わせ、縁を感じます。



社会に出れば、同じ年齢だけの会社や同じ年齢だけのマンションなどもないことを考えると、同じ年齢で一緒に遊び、学習することは、人生の中では大変貴重な経験であるといえます。また、同じように教室で学習し、同じ給食を食べて、同じ学年の子たちと一緒に過ごしていると、自分以外にもみんな一緒のような気がします。実際の学校生活の中では、それぞれみんな違います。異なる感性や価値観、考え方の違いを学びあっています。そう考えると、学校は、乗り合い列車のようなものだと思います。お互いに配慮しながら、楽しい会話などをするなど、よき思い出を作りながら充実した旅（1年）にしていきたいものです。

1年生を迎える会の校長の話の最後には、全校で「貨物列車」という遊びをしました。「貨物列車、シュッシュシュ・・・♪」と、子供たちは元気いっぱいに歌いながら、どんどんと肩につかまってつながっていきます。子供たちの元気と楽しみが膨らんだ『湊列車』が体育館いっぱいに走りました。湊小学校は、子供たちの明るさと元気がつながって、爽やかにスタートしています。



「メダルをもらって
うれしいです！」